



**テント下
待機**

布田小運動会 5月28日(土)
調布市内で初の試み

万全な熱中症対策



校庭いっぱい立てられたテント



日差しが完全にシャットアウト

布田小学校では全児童がテント下で待機した状態での運動会が開催されました。一昨年と昨年に地域団体から大型の簡易テントが計4基寄贈され、当日は、全児童が収まるように校庭の運動場に配置された。雲一つない晴天だったにもか



避難所になる体育館にまず入る説明



緊急用給水栓の開け方を実践

加することになった。地区協議会のメンバーは、避難して来る住民として参加する

疑問を感じられていたよ

コロナ以前の防災教育の日は例年、災害発生の訓練放送に合せて、学校に迎えに来た保護者への児童引渡し訓練や、6年生の児童・保護者と近隣住民の希望者を対象として、布田小

体育館での避難所訓練を実施するのが恒例であった。2020年以降、沢山の人が集まって密状態になるのを避けるため、避難所訓練はもろろんのこ

行事はほとんど何も行われない2年間だった。今年の4月23日、防災教育の日

従来の、避難所訓練の会場となる各小学校に配置される市職員は、防災安全課の方を中心

**4月23日(土)
防災教育の日
感染対策を踏まえた避難所運営のシミュレーションを実施**

街の写真館



ショウビタキ(♀)
布田5丁目 古天神公園
撮影：長谷川克正

「歴史の宝箱」
昨年、染地遺跡(多摩川桜丘旧クイーンズ伊勢丹跡)で発掘された小銅鐸は、潤な泥土に厚く覆われていたおかげで錆びることなく(緑青もなく)本来の赤銅色のままの状態

**急募
見守りあんしん
アテンダント**

下記★印の地点で朝7時45分～8時15分の30分間通学の見守りをしてくれる通学見守りアテンダントのボランティアの方を1名募集しています。お近くの当地区協運営委員、または布田小・石津副校長までお知らせください。



布田小学東側道路 星印地点

10筋

10の筋カトレーニング

ハッピータウン主催の10筋トレーニングが4月から始まりました。8月26日、9月30日、10月28日、11月25日、12月23日、1月27日、2月24日、3月24日。いずれも10時～11時半、参加申込不要です。



会場は布田南部自治会館2階

**漢検
サポーター**

地域学校協働本部

1月29日(土)に布田小にて第一回日本語漢字検定が行われました。この広報誌で募集した漢検サポーターのご協力をいただいて96名の布田小児童が受検。現在2月18日(土)に第3回実施予定の漢検サポーターを募集中です。詳細は地学協 山本 (090-9140-1891)



初めて漢検に挑戦する子どもたち

新運営委員さん (敬称略)

宇根靖人
うねやすひと
～布田小 PTA～

- ①: ゴルフ(たくさん打つのが得意)
- ②: なんとかなる
- ③: ハッピータウン協議会を通じて地域のことをより深く知ることができそうです。

積極的に活動に携わってほしいと思います。どうぞよろしくお願いいたします!

松岡和也
まつおかかずや
～学校開放委員会～

- ①: ソフトボール
- ②: 生きてるだけで丸儲け
- ③: こんにちは。布田小学校開放委員長の松岡です。地域の皆様とともに布田地区を楽しみたい地域にできるよう、活動に協力していければと思います。よろしくお願いいたします。

積極的に活動に携わってほしいと思います。どうぞよろしくお願いいたします!

折田幸恵
おりたゆきえ
～染地かもめ会～

- ①: パッチワーク
- ②: 思いやり
- ③: 初めて地区協の運営委員として協議会に参加することになりました。どうぞよろしくお願いいたします。

積極的に活動に携わってほしいと思います。どうぞよろしくお願いいたします!

野崎登志久
のぎきとしひさ
～調布市役所～

- ①: 仏像巡り
- ②: 亦復如是(やくぶによぜ)
- ④: 調布市立調布ヶ丘児童館に勤務しています。この地区の緊急時避難所開設における初動要員にもなっています。よろしくお願いいたします。

積極的に活動に携わってほしいと思います。どうぞよろしくお願いいたします!

瓦林紀子
かわらばやしりのりこ
～監事～

- ①: 合奏、合唱
- ②: 3F (Free, Frank, Fresh)
- ③: 布田在住早や40年、子ども・孫たちも布田小にお世話になり、昔の青少対では私も仲間に入れていただき、現在ボランティアによるリサイクルショップでアジアの子どもたちのために活動中。

積極的に活動に携わってほしいと思います。どうぞよろしくお願いいたします!

- ①. 趣味 ②. 好きなことば ③. ひとことお願いします

運営委員募集中!

★年6回の運営委員会
★防災教育の日 避難所訓練
★地域の安全安心活動
お近くの上記運営委員にお尋ねください



布田小地区ハッピータウン協議会
ホームページ
<https://happy-usako.jp>
スマホ対応で見やすくなりました

はっぴーなきずな

「蟻のように小さなことを象のように大きく喜ぶ。」尊敬する上司が教えてくれた言葉です。不安なニュースや悲しい別れもありますが、喜ぶことも忘れずに日々を過ごしたいと強く思う今日この頃です。(北島正也)

子どもたちへの応援メッセージになればとハッピーランチパックの配付を続けています。子どもたちへの～と言いながら、実行委員メンバーの「きずな」も深めています。何より子どもたちの笑顔に元気をもらっています。(斉藤厚子)

皆さんが愛するこの地域の願いや希望がそこに住む全員の未来への光となるよう、当地区協へのご理解とご協力のほどをよろしくお願いいたします。

布田小地区ハッピータウン協議会
会長 依田 耕児

(二面に続く)

(二面に続く)

布田小学区域内には多くの貴重な遺跡や史跡！



染地遺跡から発掘された小銅鐸。湿潤な地質だったので劣化の少ないほぼ完全な形で発見された。郷土博物館では染地遺跡の展示イベントも計画 중이다。

今回の活躍人は、小島町3丁目にある郷土博物館で史跡下布田遺跡整備担当係長をされている立川明子さん。正式には調布市教育委員会に所属する調布市職員だが、当地区協の地域にある歴史遺産の調査研究を通して、地域を愛してやまない活躍人だ。

立川さんが歴史に興味を持ち始めたのは小学4年生の頃、今となってはきつかけも定かではないが、将来は歴史の研究をしたいと駒澤大学の歴史学科に進学。卒業後は更に鶴見大学大学院に進み、文化財学科を修了された。当時ご両親と住まわれていたのは千葉県松戸市だったのだが、卒業後最初に就職されたのは東京都心を挟んだ逆側、国分寺市役所のふるさと文化財課の非常勤職員だった。実はこれこそ、立川さんのご先祖と立川さんの歴史好きが重なり合って出来た、人生の分かれ道だったのではないだろうか、話をお聞きしながら思った。

ご先祖は、鎌倉時代の武蔵七党の一族である立河氏で、その本拠地は立河郷という現在の立川市付近だったとは聞いていた立川さん

地域の活躍びと

立川 明子さん

(たちかわ あきこ)
～ 調布市郷土博物館・学芸員～



Akiko Tachikawa

市の普濟寺(ふさいじ)は、14世紀に立河氏によって開かれたと伝わっており、立川さんにとって東西部は縁浅からぬ地域なのだ。

鎌倉時代の調査にますます興味を深めた立川さんにとって、調布市の学芸員職員募集は願ってもないチャンスだった。5年間の国分寺市役所勤務の後、調布市の郷土博物館で文化財係としての活動を始めた。

「調布市、それも当地区協の地域で鎌倉時代の史跡と言えば、椿地蔵の信号で品川街道と交差して南北に走る鎌倉道ですね」、「ご存知の通り、市指定の天然記念物で樹齢約七百年と言われている、

シロハナヤブツバキとその根元に安置されているツバキ地蔵が有名です。鎌倉道と呼ばれる道は調布市内だけでも五条あるのですが、椿地蔵を通る鎌倉道沿いには深大寺城跡の史跡整備という立川さん、歴史の話を始めると次から次へと話題が出てきて止まらない。

「今は甲州街道の北にある布多天神社は、今の場所に移ったのは戦国時代のことで、実はその昔には古天神公園にあったと言われており、古天神公園の名前のいわれにもなっています。」「国指定史跡の下布田遺跡は縄文晩期の遺跡としてずいぶん知られるようになってきました。布田小のある染地でも近年発掘調査が進められて、少し時代が下った弥生時代後期から古墳時代の遺跡や遺物が出土しています。」「特に染地遺跡第128地点と呼ばれる多摩川住宅周辺からは、非常に珍しい小銅鐸が良好な状態で見つかり、東京都による詳細調査を経て今年度末には調布市に返還される予定になっています。」「眼を輝かせて話される立川さんが、現在主に担当されている下布田遺跡の話題を含め、当地区協地域および周辺の歴史と史跡のお話は、今号では載せきれないので次号のお楽しみとさせていただきます。(文・藤田秀雄)

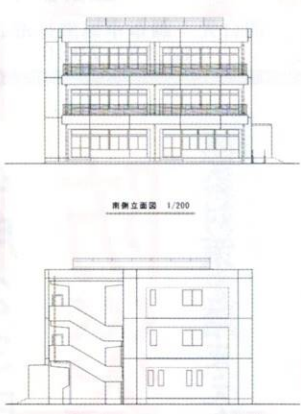


布田南通りと品川通りの交差点にある椿地蔵



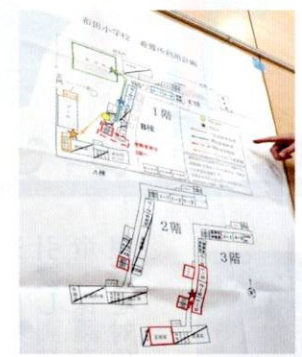
布田5丁目にある古天神公園(布多天神社は元ここにあった)

校舎増築



- 3階：多目的室
- 2階：教室2部屋
- 1階：育成室

布田小学校では、児童数の増加が見込まれるため、北側校舎の東側に並んだ形で3階建ての校舎が増築されます。竣工は令和五年三月中旬を予定。



校舎内の各教室の役割を説明



テント下で安心してプログラムが進行

防災教育の日

結果として、今まで実施してきた避難所訓練を1レベル下にずらして実施したような形になり、住民の目線で参加した地区協メンバーにとっては、気づかなかったフットマーク記入上の難しさを発見するといったことがあった。また避難所運営スタッフを務めた市職員は、我々地区協メンバーが感じていた難しさを実感されていたので、今後より現実に即して実際の避難所開設と運営が実現されることが期待される。

かわらず、子どもたちは安心して競技や応援に集中することができ、見学に来た保護者も非常にいい対策だと感想を述べていました。また、これは調布市内では初の試みだったそうです。副校長の石津先生は、今後数年は児童数が増加しますが、まだ大型テントが2基予備であるので十分に対応が可能です。」とのこと

市内全域でこのような形式が広まるというですね。

田植え



タイミングを合わせて一斉に苗を植える



参加した地区協、学校PTAの皆さん

ハッピーウォーク

7月2日(土)に、恒例となった街づくりハッピーウォークが地区協メンバー7名と布田小PTAの校外部員5名の計12名で行われました。染地地区の宅地開発が進み、半単位の街の景観が変わっていくので、それに伴い危険箇所はないか、児童の通学に支障のある道路や四つ角などないかをチェックして歩きました。



危険箇所をチェックしながら歩く

6月7日(火)には、布田小5・6年生が田植えを行いました。前日の雨天に

した。特に今回は、布田南通り沿いにあるヤマト便事業所に抜ける東西の旧田んぼ道の宅地開発に伴う道路標識や歩道エリアの確保などがほとんどなされていないことに注視し、行政に至急の対応を求めることを全員で確認しました。詳細の報告と要望内容についてはハッピータウンWEBサイトに掲載してありますのでご参照ください。



稲間の距離を指の幅で示す 斉藤農園の斉藤さん

花壇ボランティア



土を耕し、施肥して、花を植えました

白山神社通り北側にある花壇に春と秋の年二回、花を植えるボランティアさん記事は先月号に掲載しましたが、そのボランティアを広く募集しています。ご興味のある方は、会の代表の斉藤キワさんまで。(042・485・1836)

よる順延での開催でした。児童の皆さんは、熱の入った斉藤さんの説明に真剣に耳を傾け続いていたので、無事終了しました。

見通しの悪い通学路で検証を行う